

こ と ば じょうこう み な せ り き ゅ う

後鳥羽上皇の水無瀬離宮（水無瀬殿）見学会

大阪府島本町は、大阪府と京都府の府境に所在する歴史的町並みが残る場所です。この町のあちこちで、鎌倉時代の後鳥羽上皇ゆかりの水無瀬離宮に関わる遺跡がみつかっています。ところが近年、開発が進むなかで、遺跡の保存が危ぶまれています。地元では、貴重な遺跡を後世に伝えようとさまざまな取り組みが始まっています。この機会に、まだ落ち着いたたたずまいが残る島本の町並みを一緒に歩きませんか。

集合：**11**月**23**日（木・祝）午後1時・JR山崎駅前

資料代：**500**円 ※事前の申込みは不要です。主催・問合せ先：文化財保存全国協議会事務局
TEL・FAX：0743-52-1404（杉田）／E-mail：bunzenkyou2021@yahoo.co.jp

雨天中止 当日の天気予報で大阪府北部の午後の降水確率が60%以上の場合は雨天中止とします。

【主な見学地】

JR山崎駅→河陽離宮跡→播磨大路→水無瀬離宮の本御所伝承地（水無瀬神宮）
→馬場推定地→新御所伝承地→鶴ヶ池・西浦門前遺跡・ふれあいセンター（山上御所推定地）
→御所池及び州浜状の地形の見られた場所→尾山遺跡→島本町立歴史文化資料館→JR島本駅
（解散：午後4時半頃予定）

※当日の状況に応じてコースの変更をすることもあります。

講 師：豊田裕章氏（国際日本文化研究センター客員教授）

2008年以来、私は、後鳥羽上皇の水無瀬離宮について、文献史学や歴史地理学、考古学などの様々な観点から研究に取り組み、具体的な推定復元案を提示してきました。

それは、現在の水無瀬神宮から関西電力社宅にかけて街区をともなった中核区域を擁し、西側の桜井の山側に関連施設を点在させ、壮大な景観を動態的に味わう庭園都市と言っても過言ではないようなものでした。ちょうど私が研究に取り組むようになってから、水無瀬離宮に関連する遺構が、島本町教育委員会などによる発掘調査で検出されるようになってきました。

今回の見学会では、このように壮大な水無瀬離宮関連施設と考えられる場所を、当時の人の目線に立ってめぐりたいと思います。（豊田裕章）



水無瀬離宮本御所伝承地（水無瀬神宮）